

目次

序

凡例

時代の概観

第一章 都市の発展と在郷町

第一節 城下町名古屋の発展

拡大する町並／町奉行支配と町制／住民の暮らしと町法／町の生活基盤の整備／武家の町・町人の町

第二節 名古屋城下の商人

名古屋の繁栄と商業の発展／御勝手御用達商人／名古屋の商人仲間／名古屋商人の商業経営／
名古屋商人の経営組織

第三節 熱田の町

熱田町方の成り立ち／熱田町方の支配と町制／熱田魚市場／名古屋と熱田

第四節 有力給人の城下町

給人と在所／成瀬家と城下町犬山／城下に住む武家／成瀬家の城下振興策／竹腰家と城下町今尾／
竹腰家の城下振興策／石河家と駒塚村／渡辺家の寺部と志水家の大高

第五節 三河の城下町の展開

近世後期三河の城下町／町制と町の役人／年貢・諸役の負担／特権の揺らぎと町の賑わい

第六節 在郷町の展開

84

72

54

42

28

14

13

1

尾張・三河の在郷町／在郷町の空間構造／町政の運営／住民構成と生業／地域社会・経済と文化／
コラム 宿場町の出土遺物

第二章 藩政・家政改革の展開

第一節 尾張藩の藩政改革

宗春退隠後の尾張藩政／顕在化する農村の矛盾／天明の藩政改革が目指すもの／治水事業の展開／
御冥加普請・御救い普請／寛政の幕政改革と尾張藩の動き／天保期の藩政／
コラム 藩主の座と血統―宗睦後継者問題が残したもの―／
コラム 「御冥加普請」をめぐる二つの板本

第二節 尾張藩の財政

宝暦より天明までの調達金／藩札の発行と藩財政／米による正金獲得と産業育成／天保年間の財政／
藩札の発行停止と対策／嘉永年間の財政と安政の改革／幕末維新期の財政

第三節 尾張藩士の窮乏化

万石家臣家の財政状況／藩士の家計状況／藩の対応／給人と給知百姓／切米取達の窮乏化

第四節 三河諸藩の藩政・財政改革

窮乏する領主財政／家中引米／藩士の困窮／財政改革／改革と人材登用／資金調達的手段と御用達／
旗本財政／幕府拝借金と大坂加番／講金仕法政策の展開

第五節 地域支配の変容

三河での領主支配の移り変わり／田沼意次と三河の所領配置／幕領の動向と増加する飛地／
幕府代官の役割／郡中議定と郡中惣代／組合村議定と組合村役人／地域秩序と取縮り

目次

第三章 交通と流通の展開

第一節	東海道宿駅財政の悪化と改革	222
	幕府の交通政策と宿駅／宿財政の悪化／宿の変容／助郷制の展開／コラム 三遠幕領一〇か宿	
第二節	付属街道と脇往還	242
	付属街道の美濃路・佐屋路／脇往還の利用／木曾街道・下街道と領主規制／飯田街道・伊那街道と人馬継立	
第三節	さまざまな通行	258
	参勤交代をする大名／外交に関わる通行／象の通行・庶民の旅	
第四節	陸上交通の展開	266
	近距離型の馬稼ぎ／信州中馬稼ぎと三河・尾張／地之産物と三州馬稼ぎ／三州馬稼ぎの展開と競合	
第五節	尾州廻船の展開	278
	伊勢湾をめぐる船の世界／尾張藩の廻船支配／廻船仲間の結成／内海船・野間船・常滑船の特徴／半田船・亀崎船と酒積み船	
第六節	木曾川の舟運の展開	294
	尾張藩の舟運統制／幕府や大名等の年貢米輸送／尾張藩の年貢米輸送／濃州三湊と尾張藩／木曾川の川湊と商品輸送／尾張藩による津留	
第七節	三河の舟運と廻船	312
	矢作川・豊川舟運の発展／下り荷と上り荷／川船・船持・船人／分一番所／荷主と問屋／三河の湊／ひらた船といさは船／三河の江戸廻船	
第四章	都市文化と地方文化の展開	339
第一節	地域への関心	340

	尾張の地誌／三河の地誌／描かれた町の賑わい	
第二節	名古屋文化の形成と展開	354
	城下を中心とした文化人／出版・情報文化の展開／名古屋城下本屋の地方展開／本居宣長と名古屋／葛飾北斎・十返舎一九と名古屋／十時梅屋・木村兼葎堂と名古屋	
第三節	尾張国学の展開	376
	宣長学の浸透／天明・寛政年間の国学／幕末維新期の尾張藩国学／在村での国学展開	
第四節	三河国学の展開	388
	門人数からみる三河国学／三河・遠江の国学者／羽田野敬雄の活動とその周辺／東三河の神職と神葬祭運動／三河の国学者と幕末維新	
第五節	新しい学問の展開	402
	医学の普及／医師からみた医学の展開／本草学と西洋流砲術	
第六節	観光と文化	416
	日記・道中記からみる旅／出版文化の普及と観光／観光資源と観光客誘致	
第五章	地域社会の展開	429
第一節	村社会の変容	430
	「マチ化」する村／「過疎化」する村／弱体化していく村／地主―小作関係の展開／小作料と年貢／家意識の展開	
第二節	自然災害と人災への対応	448
	頻発する風水害／国役普請と河川改修／凶荒の時代とその対応／火災への備え／幕末の地震と災害	
第三節	身分社会の解体へ	466

動揺する身分制／身分意識と身分変動／さまざまな身分の人々	
第四節 民衆運動の展開	474
被支配身分内の争い／年貢をめぐる領主と百姓の争い／年貢以外の領主と百姓の争い／	
広域一揆としての加茂一揆	
第五節 地域社会における有力者	492
家と地域交流／領主財政を担う者／地域金融の担い手	
第六節 新田開発	500
尾張の新田開発／三河の新田開発／近世後期の新田経営の特徴／都築弥厚の新田経営と新田開発	
第六章 幕藩体制の解体へ	523
第一節 列島外からの脅威	524
尾張藩の海防政策／三河諸藩の海防政策／西洋流砲術の受容と広がり／	
ペリー来航時の諸領主の対応／コラム 田原蟄居中の渡辺崋山の書状	
第二節 開国と領主達の動向	540
徳川慶勝の尾張藩主襲封／徳川慶勝と幕府／幕末の朝幕関係と尾張藩／幕末の三河諸藩主と幕府／	
幕末の動乱への諸領主の対応／コラム 写真と大名	
第三節 地域組織の改編と人々の動向	560
近世後期尾張藩の地方行政制度／尾張藩代官所の機能と下役人／尾張藩代官所と地域社会／	
幕末の変動と尾張藩の地域社会／近世後期中泉代官と三河国／近世後期岡崎藩領の大庄屋制	
第四節 開国と人々の暮らし	582
ペリー来航と庶民／コレラ流行／横浜港に集う人々／開港による影響	

第五節 ええじやないかと大政奉還 596

ええじやないか始まる／三河のええじやないか／名古屋のええじやないか／
名古屋から周辺町村への伝播／ええじやないかと大政奉還

第七章 維新期の様相 611

第一節 明治初期の政治動向 612

大政奉還後の諸藩の動向／尾張藩の勤王誘引と三河諸領主／戊辰戦争における諸藩の動向／

戊辰戦争期における民衆の対応／直轄地支配と静岡・重原藩立藩／犬山・今尾藩の立藩と三河諸藩／
コラム 「三河国全図」が語る管轄替えの実態

第二節 維新期の交通と経済 640

助郷と宿駅／名古屋藩の金融・流通政策／西尾藩生産扱所と平坂回漕会社／金札と贋悪金の流通／
藩札の発行と整理／藩債処分

第三節 変革期の社会 666

神仏分離の展開／大浜騒動／稲葉騒動／伊那県騒動

あとがき 684

執筆分担 686

引用・参考文献一覧 688

掲載図版一覧 706

資料提供者および協力者 713

愛知県史編さん関係者名簿 715

索引 715